

KOBE No.1
能楽で知る、新たな自分。

能楽を知れば、 世界が少し変わる。

らしい。

公益社団法人能楽協会普及公演（神戸）
第十七回 **神戸能**

令和7年 3月 20日（木・祝）
午後1時開演（12時30分開場）

於 **神戸文化ホール
中ホール**

お話 「善知鳥とは？」

ワークシヨップ

「狂言のお話」

「囃子のお話」

がんつぶて

狂言 「雁礫」

出演 善竹 忠重

他

能 「善知鳥」

出演 上田 貴弘

江崎 欽次朗

他

入場料

一般 前売 5,500円
当日 5,500円
U25 前売 2,500円
当日 2,500円
（25歳以下）

※U25チケットは神戸文化ホールプレイガイド窓口または、神戸文化ホールオンラインチケットサービスのみの取り扱いです。
ご購入の際は年齢確認ができる証明書を提示してください。
※未就学児童のこ入場は、遠慮ください。

チケットの取り扱い

神戸文化ホールプレイガイド TEL 078-3351-3349
神戸文化ホールオンラインチケット <https://www.kobe-culture.jp/ticket/>
ローソンチケット（Lコード：5215964） <https://t.tickets.com/>

主催 公益社団法人能楽協会
共催 神戸文化ホール（指定管理者：公益財団法人神戸市民文化振興財団）

お問い合わせ先 神戸文化ホールプレイガイド

TEL 078-3351-3349

第十七回 神戸能

お話 善知鳥とは？
うとう

大森 亮尚
(おもしろ あきひさ)

昭和22年神戸市生まれ。上智大学大学院博士課程終了。専攻は日本民俗学をベースにした上代文学、芸能史などの研究。霊魂信仰研究や怨霊研究などを通じて日本人とは何かを問い続けている。著書に『日本の怨霊』（平凡社）、「日本人の謎20」（PUP 研究所）他。古代民俗研究所代表。

ワークシヨップ

能を解体し、能のつくりを、親しみやすく紹介します。

狂言のお話

善竹 忠亮
牟田 素之

囃子のお話

笛 八木原周平
小鼓 高橋奈王子 謡 笠田 昭雄
大鼓 大村 滋二 笠田 祐樹

【休憩 二十分】

狂言

大名 善竹 忠重

道通り 岡村 和彦
仲裁 小林 維毅

後見 尾鍋 智史

雁礫
がんつぶて

能

狐師の子供 古田 東聖

狐師の妻 上田 宜照

狐師の亡霊 上田 貴弘

善知鳥
うとう

間

旅僧 江崎欽次朗
所ノ者 牟田 素之

大鼓 大村 滋二
小鼓 古田 知英

笛 八木原周平

後見

田中 章文
上田 拓司

地謡

岡野八重子
竹石 宗
上田 顕崇
藤井 丈雄
藤谷 音彌
吉井 基晴
藤井 完治
上田 大介

狂言 「雁礫」
がんつぶて

狩に出た大名が鷹をみつめて大仰に弓矢の準備を始めます。しかし、実は扱いに馴れていません。そうこうする内に通りがかつた男の石礫に先を越されてしまします。大名は自分が先に「狙い殺した」と言い張り、置いて行けと男を弓矢で脅します。駆けつけた仲裁人に促され、大名は再び矢をつがえます。この矢を下に落とすことで射外したことを表します。大名は羽箆にするから「カタハガイ」（片方の翼）だけでも置いて行け、と最後まで強がりを言っているだけです。

能 「善知鳥」
うとう

親鳥が「うとう」と鳴き、子鳥が「やすたか」と鳴く——そんな鳥「善知鳥（うとう）」の声真似をして、ひな鳥を狩ってきた狐師は死後、地獄に堕ちます。旅の僧侶との縁で妻子と再会するも我が子に触れることすら叶わず、殺生の罪を悔やみます。しかし、語るうちに獲物を狩る愉悅に駆られ、ひな鳥を狩ろうとする狐師。最後は、化鳥となった親鳥の嘴や爪で肉を裂かれ責められ、狐師は僧侶に救済を求め、消えていきます。

罪と罰

生きる為、始まった罪の悲哀を描く。



神戸文化ホール
KOBÉ BUNKA HALL

神戸市中央区楠町 4-2-2

TEL:078-351-3535

神戸市営地下鉄 西神・山手線「大倉山」駅下車すぐ

JR「神戸」駅・神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車約 10 分

はじめてご覧になる方も、是非この機会に！

プロジェクターで舞台展開等をリアルタイムに投影します。